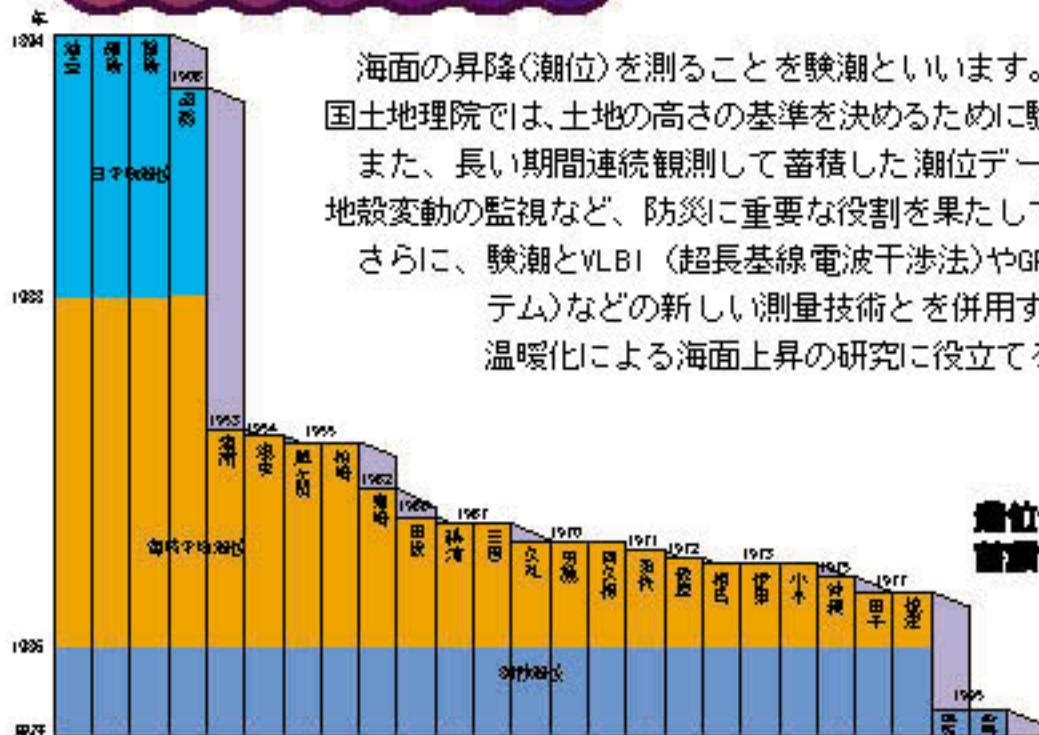


## 験潮の役割は



海面の昇降(潮位)を測ることを験潮といいます。  
 国土地理院では、土地の高さの基準を決めるために験潮を行っています。  
 また、長い期間連続観測して蓄積した潮位データは、津波の検出や地殻変動の監視など、防災に重要な役割を果たしています。  
 さらに、験潮とVLBI(超長基線電波干渉法)やGPS(汎地球測位システム)などの新しい測量技術とを併用することにより、地球温暖化による海面上昇の研究に役立てることができます。

**潮位データは長期観測されています**

## 日本の標高はどのように決めるのか

海面は、月や太陽の動き、風、気温および海流の変化によって絶えず変化していますが、長い年月連続して観測し平均すると一定の高さを示します。これを平均海面といいます。

日本の標高は、東京湾における平均海面を基準として、定められています。

水準測量の出発点として設けられた基準点が日本水準原点です。日本水準原点は、明治24年、東京都千代田区永田町1丁目1番地内に創設され、その標高は、東京湾の平均海面を基準として、24.4140mと決められています。

東京湾の平均海面、日本水準原点および標高の関係は下の図のようになっています。

